

第2回 市町村(組合)教育委員会教育長・教育委員会議 あいさつ

市町村・組合教育委員会の教育長、教育委員、そして事務局の皆様方には、日頃から本県教育行政に深いご理解と多大なご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。また、市町村および組合の教育行政の推進に、日夜ご尽力いただいておりますことに対しまして、心から敬意を表します。

本日の会議は昨年10月に引き続いて2回目です。新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、今回は完全オンラインでの開催としました。このような設定でご挨拶申し上げますが、このようなシーンを映像でご覧にならない皆様の方がもっと戸惑っていらっしゃるのではないかと拝察申し上げます。さて・・・。

本日はまず、GIGAスクール構想をテーマに、県教育委員会から講演を行わせていただきます。このテーマは前回会議終了の際にご協力いただいたアンケートで、次回のテーマとして回答者の半数以上の方から希望があったものです。

学校教育におけるGIGAスクール構想の推進は当初からの国の計画でしたが、長期におよんだ臨時休業を機に、急速にその必要性が高まり、環境の整備も格段に進みました。環境の整備は、毎日の授業において子供たちの学びを深めるために必要とされる一方、感染症や災害の発生などにより学校へ登校できない緊急時においても子供たちの学びを保障するための重要な手段となります。

授業におけるコミュニケーションの在り方は大きく変わると思います。子供たちが自分を表現する機会や友だちの考えを知る機会が増えコミュニケーションそのものも一層促されるでしょう。それを人格と人格のふれ合う^{かけがえのない}機会とすることができるかどうか、ここが教員の指導の勘所です。自らの人格は他の人格とのふれ合いを通じて形成されていきます。先生の話をもじつと聞く、これも先生の人格にふれる大事なコミュニケーションの一場面であると思います。

県教育委員会では、各市町村・組合のGIGAスクール構想に関する取組を積極的に支援して参りたいと考えております。本日の講演がその一助となれば幸いです。講演に続き、各種教育課題に対する県の取組についてご説明申し上げます。ご質問のほか、忌憚のないご意見をいただければと存じます。

県教育委員会は、市町村・組合教育委員会との連携を密にし、お互いの現状と課題を把握し、各種の教育課題に取り組んでいく所存であります。皆様方におかれましては、今後も引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。